

電気がない世界

小中台中学校一年 福與 佳倫

私は、

この世界から電気が消えたら私たちの生活はどうなるのだろうか。

とふと考えることかある。今の私たちは、スイッチを入れさえすれば好きなだけ電気を使うことかできる。しかし、東日本大震災の後には、電気が全く使えなくなり、水も止まってしまうた。その日の夜は、懐中電灯を使う

しかなくて、とても不自由な思いをした。電気が使えないということは、私たちは何もできないうことなのだ。

日常生活の中で私たちは、電気、かす、かソリンなどのエネルギーを使っている。でも、これからも、無限にこれらのエネルギーを使い続けていけるのだろうか。もし、電気が使えなければ、トイレでは水が流れず、便器の中にたまってしまう不衛生だ。ごみの処理なども、ごみ収集車が来ず、ごみ処理場では

電気がなくて機械が動かないから、ごみを燃や
やすことかできない。電気のおかげで、調理
かできたり、電車やバス、飛行機、車などで
出かけたり旅行もできる。また、先たく機や、
エアコンなどで私たちのくらは便利で豊か
になってきた。今や私たちの生活は電気に頼
っているのだ。しかし、その一方で、発電の
ために、二酸化炭素が発生し、地球温暖化な
ど、環境に悪い影響を及ぼしている。私たち
は、私たちの生活を豊かにすることだけでな
く、地球全体のこととも考えなくてはいけない
と思う。

この世界には、いくらでも電気があるわけ
ではないと思う。だから、使い過ぎで電気が
なくならないように、私は、必要のない電気を
切るようにして節電したいと思う。一人一
人の電気のむだを見直して、無理のない節電
に取り組むことか、大切な電気を守ることに
なる。そしてそれは私たちのくらしを守るこ
とにもつながるはずだ。